

## 子ども記者会見の様子

### Q:いじめを生まないために大切なことは何だと思いますか？

A:ポスターや呼びかけをすることも大切ですが、いじめの本当の姿を全校生が認識することが大事だと思います。

Q:いじめられている子に話しかけるのは一人では難しいのでは？

A:確かに一人では難しいと思います。だから、なるべくたくさんの人で話しかけること、そのための仲間を作ることで、いじめを生まない学級にすることが大切だと思います。

Q:一人でいじめを発見したときどうしますか？

A:とにかく見て見ぬ振りをしない、自分にできることを考えて行動する、みんなで協力していじめをなくすなどです。もちろん、その場で止められればいいのですが、実際は怖い気持ちもあると思います。自分にできる範囲でいいので、放っておかないでほしいと思います。

### Q:あなたがいじめにあったとき、相談できる人はいますか？

A:私は、親に相談すると思います。私はふだんから学校のことを話しているので、相談しやすいです。その後、担任の先生に相談すると思います。親に相談しにくいという人は、友だちや先輩などに相談するといいと思います。大人に相談すれば解決の道が見つかるかもしれません。友だちや身近な先輩への相談では、すぐにいじめを解決することはできないかもしれませんが、気持ちを軽くすることはできると思います。

Q:相談できない理由は何だと思いますか？

A:相談したことが分かって、それを理由にいじめがひどくなるのではないかという不安があるのだと思います。いじめをしている子一人に注意するのではなく、その子に分からないようにクラス全体に話をしてもらいたいと思います。

### Q:いじめゼロサミットをしてよかったこと、苦労したことは何ですか？

A:サミットを行うことでいじめの件数が減ってきていることがよかったです。私はこのサミットを通じていじめについて深く考えました。いじめは難しい問題ですがそれについて考えること、そして自分の言葉にすることの難しさを感じました。しかし、あえてそれらに挑戦することで理解が深まったと思います。

Q:サミットを通してどんなアクションを起こすことが必要か？

A:このサミットでいじめについて話し合ったことを各学校で全校生みんなに知らせることです。

Q:文部科学大臣は「いじめはどの学校でもどの子どもにも起こりうる」と言っているが、あなたたちはいじめをゼロにできると思いますか？

A:僕はいじめをゼロにできると信じています。いじめは暗くてつらいだけで、口では言い表せないようなものだから、いじめをゼロにすることが明るい世界をつくるための条件になると思うからです。

## Q:いじめ自殺について、どう思いますか?

A:いじめの周囲には、たくさん人がいたはずなのに、なぜ助けられなかったのかとても疑問に思っています。周りの人は絶対に助けられたと思うのに、私には理解できません。非常に悲しく思います。何とかして助けてあげたかったです。ニュースを見て、もし自分だったら何ができたかを探し求めていました。

Q:自分に何ができるか探し求めたと言うが、何ができたと思いますか?

A:いじめられていた人は、助けてくれる人を求めていたと思うので、何人か友達をさそって助けてあげると思います。

A:自分一人で解決できなければ先生や友だちに頼ることもできると思います。

A:私は、いじめをしている人にきちんと重大性を理解してもらいたいので、直接話してしまうと思います。「いじめをなぜするのか」「なんで罪悪感をもたないのか」「相手の気持ちをもっと考えて欲しい」などと伝えると思います。

Q:いじめられている子が「いじめられていない」と言えばどうしますか?

A:その場では、「ああそう」と言ってやりすごしますが、後でその子と二人になったときにしっかりと話を聞くと思います。

## Q:いじめる側の理由は何だと思えますか?

A:色々あると思いますが、開会式で実行委員OBの人の話にもあったように、ストレスと集団心理だと思います。家庭の事情とか人間関係などの複雑な事情があり、八つ当たりという形でいじめをしてしまうのではないのでしょうか。

A:OBの方の言うように、人は何人か集まると、気持ちが大きくなって、いじめをしても悪いことをしていると感じなくなり、そのゆるんだ気持ちがいじめを起こしていると思います。

Q:学校生活のストレスは、みんな持っているはず。みなさんはどう対処していますか?

A:私は、いろんな人にぶつけるのではなく、相談をしています。

A:私は音楽が好きなので、風呂場で大声を出して歌うなど、体感できることでストレスを発散しています。

A:僕はストレスのはけ口がどうのこうのということではなく、ストレスをためない環境をつくることも大事だと思います。例えば、トラブルが起こったときには、互いが公平になるように話し合いで解決するクラスをつくりたいと思っています。